

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「とうろうきふだいし 灯笼坂大師トンネル」 2017年4月16日撮影

千葉県富津市竹岡の山間部にある。旧字体で「燈籠坂大師の切通しトンネル」とも称されている。これは異様なトンネルだ。トンネルの天井が奇妙なほど高い位置（約10メートル）にあり、90度以上に傾斜した、切り立つ壁面に挟まれている。この土地の人々はなぜこんなトンネルを作ったのだろうか、と疑問を持つ。

写真に写っている人々は、地元の通行人ではなく、観光客であり、これを見に来た人たちだ。見上げながら、ぞろぞろと歩いている。私もその中の一人だった。

改めてネット検索すると、その昔、上の部分にトンネルが造られたが、高い位置だったため、そこを通るためにはかなり上り下りをしなければならなかったから、後になって、道を平らにしようと、天井部分はそのままで、路面を大きく掘り下げて拡張した結果、このような形になったと説明されていた。

「みなせ」文芸の会要項

1 会員制

入会の資格等は、特にありません。執筆掲載希望の方、および購読希望の方であれば、どなたでもいつでも入退会できます。

2 年間会費

入会時と年次に千円を事務局に納入願います。
(懇談会の席で、直接納入でも可)

3 掲載負担金（一頁、原稿約2.5枚につき）

電子文書 400～500円（発行時にかかった費用により確定）

手書き原稿も可能ですが、電子文書の±100円高となります。

4 掲載内容

小説、評論、随筆、詩歌など文芸作品に限りません。

5 年4回発行（季刊）

発行の数週間後に、合評・懇談会を主に神奈川県内で開催します。

6 問い合わせは事務局まで、奥付参照。

編集後記

写本では、手本の間違いに気づいても、そのまま書き写すことが求められる。間違いもそのまま伝えることが正しい姿勢とされる。文章を書くとき、ある事実の根拠を示すために既存の情報を引用するのだが、それを丸々引用すると、文章が長くなって、読む側にわかりにくいだろうと思い、私などは取捨選択し、簡略化し、概要だけを示すことが多い。引用する内容を下手に変更したり、はしょったりすると、真意を伝えなかつたり、無意識にフェイクを書く恐れがあるから、なかなか難しいと感じている。

(1.0)

「お知らせ」

- ・新会員を募集しています。お問い合わせは事務局へ。
- ・ホームページについては、以下のサイト、
<http://minasebungei.web.fc2.com>
を訪問してください。
- ・ホームページの検索は『みなせ文芸』で可能です。
第47号からのバックナンバーをこちらで読めるようになっています。

「会員へ」 本号の合評・懇談会は5月下旬を予定しています。詳細は別紙・会合の案内を参照してください。また、今後に掲載しようとする原稿は、以下に示します締切日までに、ご用意下さい。

「次号の予定」

原稿締切日

発行予定日

83号

19年6月25日

19年8月1日

みなせ 第82号

発行日 2019年5月1日発行

発行者 みなせ文芸の会

<http://minasebungei.web.fc2.com/minase.html>

編集／事務局 岡森 利幸

〒257-0013 秦野市南が丘5-3-16

Tel/Fax 0463-83-0279

e-mail t-okamori@plala.tn

製本 社会福祉法人神奈川県厚生協会 貴峯荘

〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1-9